

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
 TEL 087-825-0350
J F 香川漁連 FAX 087-851-0699

第34回高松地区乾のり品評会開催

高松地区海苔養殖研究会(会長 新開義明)主催の、第34回高松地区乾のり品評会が、去る1月18日に高松市瀬戸内漁業センターで開催されました。

当日は審査員に県漁連の海苔検査員を招き、地区会員全員から出品された乾のり64点(6,400枚)を厳正に審査し、上位9点の入賞を決定しました。

出品された乾のりは、焼海苔に加工して市内の福祉施設に寄贈するほか、2月10、11日にサンポート高松で開催される「たかまつ食と農のフェスタ」でPR販売する予定です。

第34回高松地区乾のり品評会受賞目録

賞名	受賞者	ブロック名
市長賞(団体賞)	高松市瀬戸内漁業協同組合	
市長賞(個人賞)	津島 和博	香西
香川県農政水産部長賞	吉原 和夫	香西
高松市議会議長賞	阿部 清隆	香西
香川県漁業協同組合連合会長賞	北野 広治	高松市瀬戸内
香川県海苔養殖研究会会長賞	地濱 秀生	高松市瀬戸内
(社)香川県水産振興協会会長賞	湊谷 正秀	高松市瀬戸内
香川県信用漁業協同組合連合会長賞	山城 功	直島
高松市漁業協同組合連絡協議会長賞	中村 一則	屋島・女木・男木
高松地区海苔養殖研究会会長賞	竹内 義孝	高松市瀬戸内
ブロック賞	藤本 聖二	下笠居

税務説明会開催

1月25日、漁連会館において漁協関係者ら約80名が参集し税務説明会が開催された。

この説明会は、所得申告、法人税申告、消費税申告を控えたこの時期に毎年開催されており、今回は申告関係の他に法人税調査に関する留意事項、個人情報取扱い、定款変更、業務報告書作成上の注意点等について説明があった。

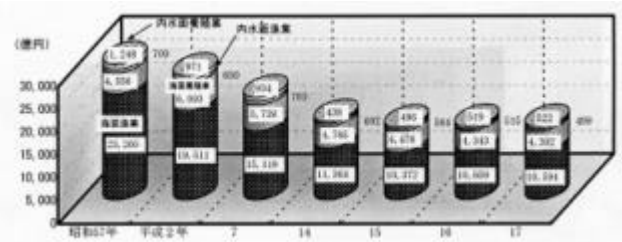
平成17年漁業生産額(全国・香川)

農水省は12月26日、平成17年の漁業生産額を発表した。それによると、平成17年の生産額は1兆6,007億円と前年より0.2%減少し、海面漁業・養殖業が全体の93.6%を占めている。

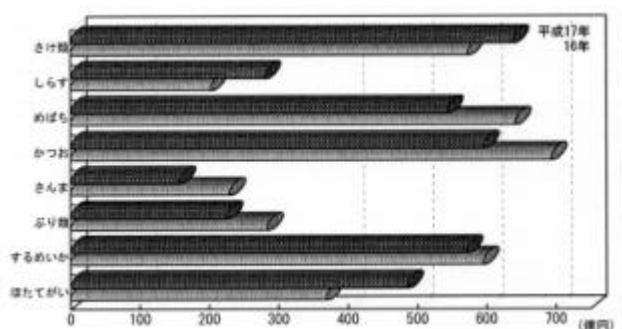
海面漁業の生産額は1兆594億円で、前年に比べ0.6%減少した。ホタテ、サケ類、シラスなどは増加したが、カツオ、サンマなどが減少した。

海面養殖業は、4,392億円で前年より1.1%増加した。これは、ブリ類などが減少したものの、ノリ類、ホタテなどが増加したことによる。

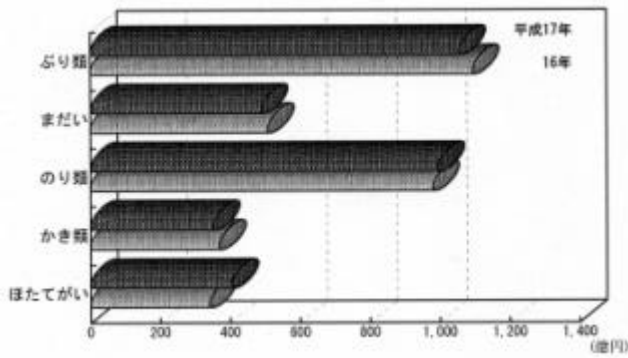
漁業生産額の推移(全国)



海面漁業の主要魚種別生産額(全国)



海面養殖業の主要魚種別生産額(全国)

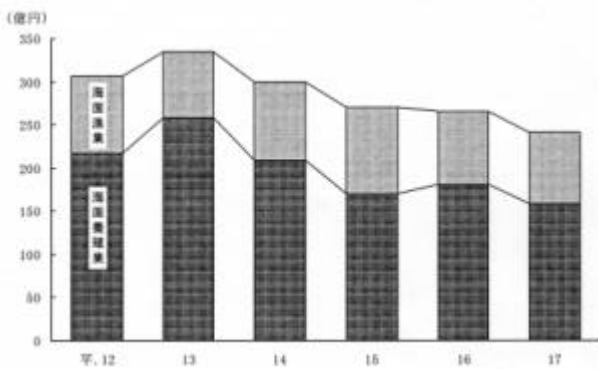


一方、県内漁業生産額は中国四国農政局香川農政事務所のまとめによると240億5,500万円で、前年に比べ9%減少し、ピーク時(平成3年402億円)の6割となった。

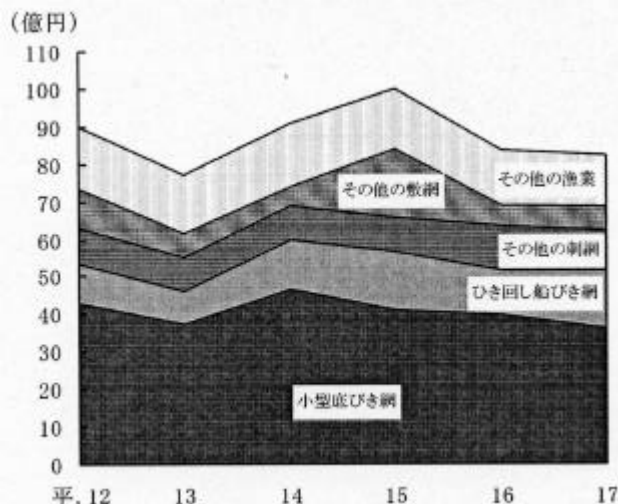
海面漁業の生産額は82億2,400万円で、前年より1億4,100万円(2%)減少した。これは、ひき回し船びき網、その他の敷網で漁獲量が増加したものの、それ以外の漁業種類で漁獲量が減少したため。

海面養殖業の生産額は158億3,100万円で、前年に比べ23億1,300万円減少した。これは、ノリ類養殖、ブリ類養殖などで減少したため。

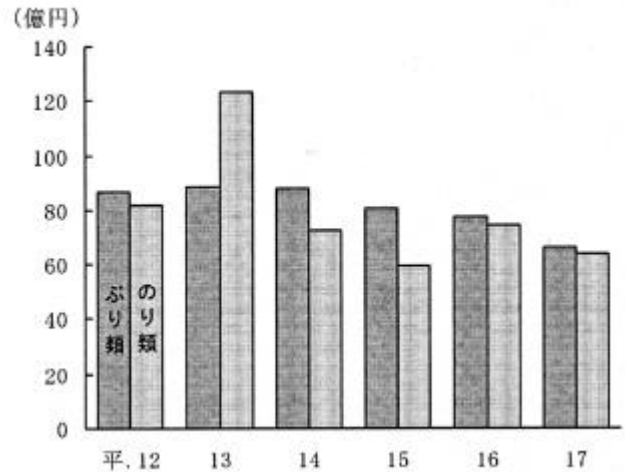
海面漁業・養殖業生産額の推移(県内)



主な漁業種類別生産額の推移(県内)



ぶり類・のり類養殖生産額の推移(県内)



平成18年海難事故発生状況

高松海上保安部がまとめた平成18年(11月末現在)香川県海域の海難発生状況によると、船舶海難の隻数は63隻で前年同期より10隻減少した。

船の種類別では、プレジャーボート19隻(前年22隻)、漁船17隻(前年22隻)、その他(引・押船、台船等)12隻(前年3隻)、貨物船10隻(前年20隻)の順となり、ほとんど減少したがその他の船舶(引・押船、台船等)の増加が目立った。

海難の種類別では、乗揚げ18隻(前年16隻)、衝突15隻(前年31隻)、機関故障7隻(前年11隻)、火災6隻(前年4隻)の順で、特に衝突海難が前年に比べ半減した。

主な行事予定(2/1~2/28)

- 2月 7日(水) 北方領土返還キャンペーン (ゆめタウン)
- 11日(日) 第6回乾のり入札
- 24日(土) 三豊地域漁業者検討会
中讃地域漁業者検討会
- 25日(日) 第7回乾のり入札
- 27日(火) 高松地域漁業者検討会
東讃・小豆地域漁業者検討会